

## 2020年度後期 講義概要

|        |   |
|--------|---|
| 授業科目名  | 倫理学   |
| 主担当教員名 | 児玉正幸  |
| 配当学年 等 | 2   |
| 学習目標   | 本邦の生殖医療界は、先端生命科学技術の適応の拡大を巡り、それに期待する患者や患者の負託に応えようとする推進派と、適応の暴走を懸念する慎重論者や受精卵の選別に障害者差別を訴える反対派団体との板挟み状態である。そこで先端生命科学技術の臨床適応にまつわる医学的・社会的・法的・倫理的問題点を理解して頂くのが一次目標。次に、その解決の方向性について思索を深めて頂くのが二次目標。 |
| 授業概要   | 「道徳教育」の観点から次の内容の講義を行う。日本の生殖医療の現場を最も煩わしているのは、生殖に関する倫理（障害児を中絶する権利の容認VS中絶合法化反対論争を通した命の大切さ）である。最先端の生命科学技術を紹介しながら、その生命科学の前に立ちはだかる倫理の壁を突破する試みを展開する。   |

## 授業内容

| 年月日(曜)        | 時限  | 担当教員  | 項目                      | 内容                           | 課題有・無 | 授業形式(原則、対面。) |
|---------------|---|-------|-------------------------|------------------------------|-------|--------------|
| 令和2年10月12日(月) | 3時限   | 児玉 正幸 | 生殖医療の生命倫理学入門(海外編)       | インドの代理出産を考える(前編)             | 有     | 対面           |
| 令和2年10月19日(月) | 3時限   | 児玉 正幸 | 生殖医療の生命倫理学入門(海外編)       | インドの代理出産を考える(後編)             | 有     | 対面           |
| 令和2年10月26日(月) | 3時限   | 児玉 正幸 | 生殖医療の生命倫理学入門(海外編)       | タイの代理出産を考える                  | 有     | 対面           |
| 令和2年11月02日(月) | 3時限   | 児玉 正幸 | 生殖医療の生命倫理学入門(海外編)       | ジョージア代理出産ビジネス考               | 有     | 対面           |
| 令和2年11月09日(月) | 3時限   | 児玉 正幸 | 生殖医療の生命倫理学入門(海外編)       | インドとタイを除く東アジア諸国の生殖医療規制の現状    | 有     | 対面           |
| 令和2年11月16日(月) | 3時限   | 児玉 正幸 | 生殖医療の生命倫理学入門(日本編)       | 生殖医療の生命倫理学入門(日本編)            | 有     | 対面           |
| 令和2年11月30日(月) | 3時限   | 児玉 正幸 | 生殖医療の生命倫理学入門(日本編)       | 「祖母が孫を生む」代理出産を考える            | 有     | 対面           |
| 令和2年12月07日(月) | 3時限   | 児玉 正幸 | 生殖医療の生命倫理学入門(日本編)       | 習慣流産予防のための着床前診断(PGT-SR)を考える  | 有     | 対面           |
| 令和2年12月14日(月) | 3時限   | 児玉 正幸 | 生殖医療の生命倫理学入門(日本編)       | 流産予防のための新型着床前診断を考える          | 有     | 対面           |
| 令和2年12月21日(月) | 3時限   | 児玉 正幸 | 生殖医療の生命倫理学入門(日本編)       | 本邦の着床前胚染色体異数性検査(PGT-A)の現状と展望 | 有     | 対面           |
| 令和3年01月04日(月) | 3時限   | 児玉 正幸 | 生殖医療の生命倫理学入門(日本編)       | 本邦初の子宮移植を考える                 | 有     | 対面           |
| 令和3年01月08日(金) | 2時限   | 児玉 正幸 | ユマニチュード入門(1)            | 終末期医療を考える                    | 有     | 対面           |
| 令和3年01月18日(月) | 2時限   | 児玉 正幸 | ユマニチュード入門(2)            | 終末期医療を考える                    | 有     | 対面           |
| 令和3年01月18日(月) | 3時限   | 児玉 正幸 | ユマニチュード入門(3)            | 終末期医療を考える                    | 有     | 対面           |
| 令和3年01月22日(金) | 2時限   | 児玉 正幸 | ユマニチュード実技編+終末期医療倫理理解度判定 | 理解度判定小論文+総括                  | 有     | 対面           |
| 授業形式・視聴覚機器の利用 | 毎回、先端生命科学技術の適応と倫理に関するパワーポイント・スライド(PPS)授業を行い、その内容に即して受講生と討議する。 |       |                         |                              |       |              |
| 評価方法          | レ出席状況(45%) レ授業への取組み状況(15%) レ小論文の提出状況(40%)を総合的に評価する。           |       |                         |                              |       |              |
| 教科書・参考文献      | 参考書は使用しない。授業関連資料は、必要に応じて、適宜配布する。                              |       |                         |                              |       |              |
| 学生へのメッセージ     | 生殖医療にまつわる生命倫理との格闘は、将来の医療職従事者に必ずや資する。                          |       |                         |                              |       |              |